

# 神代之風

発行：玉置神社  
発行人：弓場 季彦  
TEL 0746-64-0500  
FAX 0746-64-0429

# 馬 謹賀新年

平成26年  
元 旦

## 風雨の中600余人が参列

雨の中、宵宮祭。形をとどめて齋行。なおも降りしきる雨の中、翌日催事において奉納予定の2組のグループの皆さん中止になる可能性大であるにもかかわらず熱心にリハーサル。頭が下がります。このような方々にご縁をいただけたこと幸福(さいわい)ですね。  
昨秋10月24日、例大祭当日。やはり雨やまず、神輿は中止、催事も一部中止。そのような中でも600名ほどの皆様が参拝されました。

# 秋の例大祭

### 年頭ごあいさつ

皆さま、明けましておめでとう  
ございます。  
玉置神社宮司 弓場 季彦

私は、どのようなことも心の持ちよう、ものの見方で概ね楽しくありがたく受け止められると思うのです。こんな樂觀力、少々恵まれた鈍感力、そして何よりも皆さま方のお陰をいただき、1年を歩むことができました。

今年も温かいご縁をただけますよう、感謝の念と共に玉置の山から申し上げる次第です。ありがとうございます。



祭典には、多数の方々が傘をさし、あるいは傘もささず、参加してくださいました。境内で予定していた催事は神楽殿において試みしました。



龍笛「出口焔鈴」ユニットはドラム・ベース・ギターなどの楽器に舞も加わったの演奏。元OSK日本歌劇団のメンバー8人は歌手三倉永楓(はるか)さんが歌うご当地ソング「恋しくて十津川」に乗せて盆踊りもどき。輪になって踊り出すと飛び入り参加者で輪が広がるなど、それぞれ夢の舞台が現れたようでした。  
玉置の山路を遙々(はるばる)と登って来てくださいました参拝者、奉納された皆様、感謝に耐えませんが「神は人の敬によって威を増す」。ありがとうございます。

# 寄稿 ただ尊く、胸打つ玉置神社の 例大祭だった

玉置神社の例大祭が昨秋10月24日(木)午前9時30分から斎行された。台風が2つ日本列島に接近する緊急事態の中、約600人の参列を迎え、厳かに粛々と進められた。

ご縁に恵まれ、崇敬会に入会、初めて例大祭列席の光栄に浴した私を感じたまま思ったまま、一文を寄せさせていただく。余りにも尊く、胸熱くなるばかりのひとときだった、と今思う。そして、神威というものの、人間というものの「美しさ」を胸の奥深くに刻みつけた時間だった、と今振り返る。

ご本殿で執り行われる次第は外に立つ私には不明だ。揺らめく光と影、神職の流れる動き、かすかに見える宮司の所作、神に告げ祈る祝詞や捧げられる玉串の発する清い音(ね)……。見えないからこそその秘事の重みが迫ってくる。

降りしきる冷たい雨。吹きつる風。その中で、傘も差さずレインコートや帽子も脱ぎ、頭を垂れて神事を見守る人々……。何という美しく、胸打つ情景だろうか。へ神々のおかげで生きている。幸せをいただける。今、荒ぶる風の神、雨の神に包まれて共に在る……。雨に濡れても決して屈しない祈りの姿。私は、どうぞ風邪を引かれませぬように、とつぶやいた。玉置神社はこうした人々に支えられているのだ、と思うと、いつの間にか、目に涙があふれていた。

龍笛(りゆうてき)の音魂(おとたま)が雨霧に包まれた境内一帯、杉の巨樹群を縫って流れていく太古の神祕が自然界と一体となって玉置山に現出している……。私には感じられた。

弓場宮司が本殿の前部脇に立ち、お礼の挨拶をされた。「風雨の強まる中、例大祭に参列いただき、誠にありがたく厚くお礼申し上げます。宵宮と本祭りの両日が雨に降られたことは、ここ100年無かったことだろうと皆さん話しておられます。御神輿渡御や餅つき踊りなど残念ながら中止とさせていただきます」と述べ、親しみやすい言葉で伝統神事



の意味などを解説された。「大神さまの御神威が皆さまに輝き御神徳を戴かれますことを祈念いたします」。宮司が深々と礼をされて祭典を終えた。困難苦難はそれを乗り越えられる人間の上だけにやってくる―新しい宮司の笑顔を見ながらこの言葉を思い出していた。

## 神々が喜ばれた歌舞音曲

装いを新たにした神楽殿で、龍笛「出口煌玲」ユニットとOSK日本歌劇団OGによる催事が行われた。岩戸にお隠れになった天照大神にお出まし願うために神々がにぎやかに奏した歌舞音曲―。この日の催事は、岩戸伝説のことを幻の如く脳裏に描いてくれた。篠笛・龍笛奏者として、また音楽監督として国際的に活躍している出口煌玲さん。心にしみこむ龍笛と村尾コージさんの白熱のドラムなどのコラボレーション。そして、優雅な祈りの女性の舞。この上ない「神さまへのおもてなし」となったであろう。

OSK日本歌劇団OGの8人が着物姿で神楽殿に立つと、「ああ……」と人々の間から感嘆の声がもれた。三倉永楓(はるか)さんの歌、「恋しくて十津川」に乗って元OSKの皆さんの盆踊りが始まる。踊りを振り付けた吉津たかしさんを先頭に、笑顔の華の輪。品雅あふれた手の流れ、足の運び、目の艶めき……。これほど「美しい」盆踊りがあるだろうか。参拝者も飛び入りで加わる。東京からひとり、夜行バスでやって来たという若い女性も見えました。「夢のようです。生涯忘れない日になりました」。瞳(ひとみ)をキラキラ輝かせて、また夜行バスで帰って行った。

玉置の神々もきつとこの踊りの輪の中に加わっていらつしやる……。感じた。余りにも美しく、美しいので、居ても立ってもおれなくなつて……。これが、原始の、根源的な例大祭だ。何度も様々な場面を思い返しながらか、そして十津川の人情をたつぷりポケットに入れて、私も帰りのバスに乗った。(元読売新聞社会部記者 水野成之)

# 「山上の小さな安らぎと文化の都」を夢見て

宮司へ新春インタビュー

今年、どんなことに挑戦したいですか？

◇宮司 参拝して下さる方々がとても多くなりました。ありがたいことです。皆さまからいろいろのご要望が寄せられます。特に、夕暮れ以降、夜ゆっくり過ごせる場所があれば・・・とおっしゃる方が目立ちます。未明の神社の深い静寂、神秘性とか他で経験できないものに触れてみたい、そんな声が強いです。

境内に宿坊があります。ここを修理、改善し、崇敬会会員、学術研究者はもちろん一般の参拝者でもひとつのテーマを持った方々には、泊まっていたらいい、神社のことをより深く知っていただきたい。気兼ねなく気軽に意見交換してね、そこが発信の場になれば・・・と。

ただ、山上ですので水が十分でないことも含め、いろんな面で難工事も予想され、一朝一夕にはいきませんが、何とかご要望にお応えしたいなと思っております。



## 少しでも良い状態にして次世代に

境内に建ち並ぶお社、施設などに傷みも。

◇宮司 長い年月、風雪に耐えてよくここまでがんばってくださった、と思っております。いろいろ調査もしてきました。やはり中長期にわたって腰を据えて取り組まねばならない状況にあるのはまちがいません。その種を播いておかないと・・・



(宿坊茶屋)

そして、いずれかの時期にそういう立場になった人が、また修理などしてくだされば、今は優先順位をつけ、少しでも良い状態にして、後に引き継いでいきます、と思えます。



重要文化財に指定されています社務所の江戸期狩野派絵師の手による障壁画が、悲鳴をあげているように感じられますが・・・

◇宮司 これは素晴らしい襖絵・障壁画なんです。ただ、じっくり見てもらえば分かると思いますが、落剥(らくはく)寸前の部分がたくさんあります。いわゆる「復元」ということですが、つまりリニューアルして描かれた当時のきらびやかな姿に戻すのは、私どもの考え方からすると、費用面で天文学的な数字になっていきます。

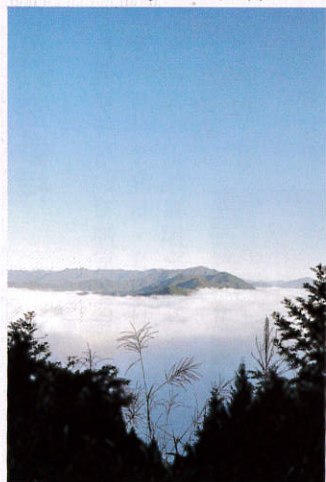
60枚余りある襖絵全ての復元修理となると、こんな大事業を1神社だけで背負いきれるような代物ではない、ということですね。公的機関、篤志家の助けなどがなければ、とてもとても・・・復元というのは・・・夢ですが。

現代の技術ですと、これ以上悪くならないように食い止めることはできるようです。実は、専門家に調べてもらったところ、落剥などを食い止める手立てのコストは思ったより低く、これなら、がんばれば・・・、と思えました。ただし、重要文化財ですので、許可が伴います。



神楽殿が綺麗になり、様々に活用なさっていますね。

◇宮司 傷んでおりましたので、ちょっとさわらせてもらって、こざつぱりした神楽殿になりました。いろんな発信の拠点のひとつになっております。



(玉置山から見た大雲海)

「ご奉納の歌舞音曲などは、元来、神々がお喜びになり、お喜びが大きければ大きいほど私たちへのご神徳も深く大きく載ける・・・」

◇宮司 玉置の神々にお喜びいただくよう伝統芸能を含めていろいろ奉納しています。神々にご奉納申し上げている中で、参拝している方々も関心を示して集まってくれています。多くの方が、奉納させてもらいましょうか、と言ってくくださり、ありがたく思っています。文化の発信も神社のひとつの役目であると思っています。

## 神社としての実力の涵養を

玉置神社の(言葉として)適当かどうかは分かりませんが)ブランドのすゝさ。

◇宮司 おっしゃる通りに、玉置のブランドは誠におかげさまでありがたい、と思っております。そのブランドに負けない神社としての実力を涵養(かんよう)しようとしていきたい。繰り返しになりますが、ハード面では神社の施設その他を少しでもより良い状態にして次に引き継ぐこと。ソフト面では文化の香りもそこはかとなく漂っているようなお社(やしろ)にしていきたい、ということですね。

「上質の知性」は上質の知性を呼ぶものです。新しい方が2人、神社に加わられたようですが。

◇宮司 私ども、大いに期待しています。女性神職は「明階」という高い資格を持ち、若いのに、神職としての教養・知識だけでなく、幅広く社会経験を積んでいる。もう1人の若い男性は、システムエンジニアなど多彩なキャリアと才能を備えている。ドイツ語、英語の翻訳、通訳ができますので、日本語版だけでなく外国語版のホームページも試みたいと考えています。

最近、外国の参拝客も増えており、新人2人とも英会話ができますので、心強いかぎりです。"神さまのプレゼント"なのかな、と感謝しています。

―玉置神社の将来像は？

◇宮司 「山上の小さな安らぎと文化の都」を夢見て、それを目指したい・・・。

―宮司就任1年を振り返って。

◇宮司 私の信念は、今やるべきことは先送りしない、ということですが、この1年、信念に基づいて前進できたことは、ありがたく思っております。氏子、責任役員の方々、崇敬会の皆さまのご支援、ご助言には言葉で表せないほど感謝しています。遠来の知人、友人が時空を超えて、また多地域から大勢の方が参拝してくださり、「ここにきて、パワーをいただいた」などとおっしゃってくださることは、とてもありがたく思っています。

大切なことは目に見えない

―今年の宮司のこころを言葉で。

◇宮司 「おかげさまで」、そして「大切なこと(もの)は目に見えないんだよ」(サンテグジュペリの『星の王子さま』)。

吉村祐香さんと江頭健次郎さん

吉村さんは國學院大学神道文化学部卒業、長野県神社庁につとめ、「明階」資格を取得。国の制度・ワーキングホリデーによってカナダ・バンクーバーで語学勉強。「神さまのお導きで玉置神社にご奉仕させていただくことになりました。尊い伝統を守り、神社の魅力を、必要とされている方々に広めてまいります」。

江頭さんは大阪外大ドイツ語学科卒。ミュンヘン大学留学。コンピュータ構築系システムエンジニア。ドイツ人の奥さんと共に神道、修験道、仏教、日本の伝統文化に傾倒。合気道三段。玉置神社は天空の社。神秘性からいっても別格。元々この大ファンでした。不思議なご縁を感じます。外国にも発信できれば」。



新春インタビュー・聞き手 水野 成之

伊勢神宮遷宮参拝

県神社庁のお取り計らいで神宮から御境内参拝の許可をいただき10月29日・30日に第62回遷宮を迎えられた神宮へ正式参拝を試みました。崇敬者の皆様などと共にお世話役として宮司・神職も同行しました。

東北・四国・九州方面からもご参加いただき、前日までは見ず知らずの関係であった方々も、うち解け交流もでき、あつという間の2日間でした。観光ツアーではなく、正式参拝ツアーとして、内容もかなり工夫、いささか窮屈であったかも知れません。でも、皆さんそれを楽しまれていたようにも見受けられました。いかがでしたでしょうか。



クリスタルボウル 演奏奉納

クリスタルボウル奏者・仲野榮子さんグループ8名来社。たくさんクリスタルボウルを並べ奉納演奏。



まるで神々と会話しているような風情。やさしくやわらかくなでるが如くクリスタルボウルから音色を誘う。その音色が空中を駆け巡り、そして身体に心に入り込んで来る。この音色は一体何だろう。神秘！

奈良フィルハーモニー管弦楽団 演奏奉納

12月1日。1000mの山上。本殿において奉納祭斎行の後、寒さがひとしお忍び込む神楽殿において演奏。全良雄団長、大原末子、桑原謡子、山田陽子の皆さんで、玉置山から初めてのプロオーケストラによる試み。神様も感心を示していたのだと念じる。参拝者の方々から「あらかじめ知っておれば誘い合わせて来たものを・勿体ない。素晴らしい演奏です」と声をかけてくださいました。演奏の皆様ありがとうございます。



平谷小学校の生徒さん 校外学習

襖絵鑑賞を中心テーマに49名の皆さんが元気一杯来訪。



明るい声が境内に満ちるとにわかには神社も活気づく。にぎやかな声もピタリと止むと熱心に襖絵鑑賞。マナーもさわやか。ありがたいですね。しっかりと守っていかねばとの意をまた強め深めさせられましたです。

# 玉置山文化サロン

## 歌舞伎座・国立文楽劇場

30年ばかり前、東京で過ごす期間があり、歌舞伎座へ片岡孝夫(当時)さんを見ようと出かけた。

確か「関西に孝夫さんを帰さない会」というグループでしようか、チラシを配っていた。びつくりし焦りましたねえ。

新装後、訪れてみましたがチケットは売り切れ。一幕だけでもと並んで辛うじてチケットを手に入れ入場。並んでいる最中、神戸から来たというご婦人と雑談。日帰りで観劇に來ているとのこと。歌舞伎もこのようなファンがいて幸福ですね。

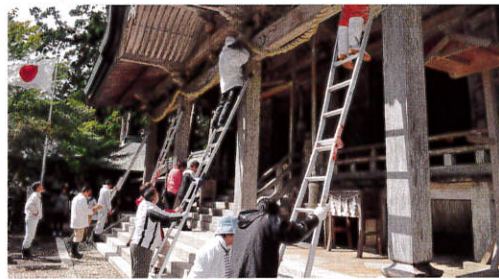
国立文楽劇場へ行く。昼の部は6割ぐらいの入り。少々さみしい。こんな素晴らしい伝統芸能、大阪から絶対離したくないもの。でもね、隣に座っておられたご婦人は東京から観劇に來ているとのこと。幕合に「この演目は何度も見ているので中座して宿泊中のホテルで休憩してきます」といっておられました。その演目終了後再び戻って観劇されていました。ありがたいですね。文楽も頑張ろう!

さて、新装歌舞伎座、巨大ビルが背後にそびえ立っているのは気になりましたが、関連施設もありここでも楽しめますね。

## 献湯祭・注連縄奉納祭

台風26号の訪問を受けながらも風神は一陣の風を吹かせてサツパリと急ぎ旅で去りました。

10月16日、十津川村観光協会主催で献湯祭と注連縄(しめなわ)奉納祭は少し時間を変更して齋行できました。献湯祭は温泉地温泉・十津川温泉・上湯温泉の御湯をそれぞれ齋神に移し玉置の神々にお供えする。注連縄奉納祭は本殿・神代杉・夫妻杉・大杉・磐余杉・常立杉に手造りの新しい注連縄を奉納する。歓喜と感謝の真心と共に。出席された皆様に真新しい注連縄に取り替えてくださいました。勢いを増したように見えます。ありがとうございます。



## 神社日誌抄

毎月1日出雲大社玉置教会・15日三柱社・24日日本社の月次祭を執り行っています。

|     |     |  |
|-----|-----|--|
| 9月  | 1日  | ・十津川中学校生徒、先生22名<br>・秋本登志嗣県議参拝<br>・研究で来社                        |
| 10月 | 4日  | ・弓神楽講習(島本先生、大谷先生)<br>・奈良養基会竹内寛さん、増田健さん狂言奉納<br>・精華町自治会の方々10名が参拝 |
| 10月 | 6日  | ・秋の例大祭   |
| 10月 | 12日 | ・玉置神社崇敬者等28名が<br>式年遷宮の伊勢神宮を正式参拝                                |
| 10月 | 16日 | ・新十津川町社会福祉法人明和会一行<br>8名が参拝                                     |
| 10月 | 17日 | ・新十津川町社会福祉法人明和会一行<br>8名が参拝                                     |
| 10月 | 22日 | ・新十津川町議会の皆様が正式参拝   |
| 10月 | 23日 | ・幸福の科学一行20名が正式参拝   |
| 10月 | 24日 | ・十津川村立平谷小学校の生徒39名と引率<br>の先生10名が来社 宮司説明                         |
| 10月 | 29日 | ・十津川消防団防火点検のため来社   |
| 10月 | 30日 | ・紀南ユネスコ協会18名が参拝  |
| 11月 | 1日  | ・大三輪教郡山支部正式参拝。引き続き<br>襖絵を拝観 宮司説明                               |
| 11月 | 3日  | ・近畿財務局長と奈良財務所長敬訪問  |
| 11月 | 11日 | ・JR東海東京駅内掲示用電子ポスター<br>撮影のため来社                                  |
| 11月 | 12日 | ・NPO音楽の森研修で荒井敦子さんから来社  |
| 11月 | 13日 | ・帝塚山南自治会一行が参拝  |
| 11月 | 20日 | ・NHK文化センター一行20名正式参拝  |
| 11月 | 29日 | ・シヤスタ山コーデイネーター中山美穂さん<br>グループ4名が正式参拝                            |
| 11月 | 30日 | ・奈良フィルハーモニー管弦楽団奉納演奏<br>山の神祭                                    |
| 12月 | 1日  | ・留学生7名、奈良まほろばソムリエの<br>会及び県同行で参拝。初めて英語のレ<br>ジメを用意               |
| 12月 | 7日  | ・(財)伊勢神宮式年遷宮奉賛会奈良県<br>本部解散式 宮司出席                               |
| 12月 | 8日  | ・奈良教育大ほか28名、道普請ご奉仕。<br>境内・参道・山頂への道などが綺麗に                       |
| 12月 | 10日 |  |
| 12月 | 14日 |  |
| 12月 | 15日 |  |

## NPO音楽の森 自然学校研修参拝

NPO音楽の森を主宰する荒井敦子理事長のご案内で雨の中46名の皆さんがご参拝。音楽・感謝・食育・農業・環境などのテーマを掲げての学びの現地への旅。全国各方面から参加されている由、参加された方々からのご質問・ご意見ご助言も多く、神社側も大変勉強になりましたよ。



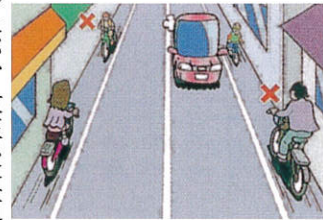
# 防犯の窓 (4)

## 12月1日、道路交通法が一部改正されました。

主な改正点は

○ **自転車の路側帯通行を道路左側に限定**

自転車などの軽車両は、これまで歩道がない道路の左側にある路側帯と右側にある路側帯のどちらも通行することができましたが、改正後は道路の左側部分に設けられた路側帯に限られます。



○ **無免許運転等の罰則を強化**

無免許で自動車又は、原動機付自転車を運転した者に対する罰則が引き上げられます。

○ **無免許運転の補助(ほうじょ)行為を禁止**

自転車の使用者等が、無免許運転を助長する車の提供や同乗した場合の罰則が新設されます。

## 十津川村消防団 玉置山防災施設点検

11月6日玉置神社周辺・水源地区において防災施設の点検や水源地の清掃等を実施してくださいました。関係者15名余りの方々が出勤しておられました。常時緊張感を持って心構えしておりますが、やはり点検等お願いした後は安心感もたくさん置いていってくださったと実感いたします。ありがとうございます。



## 老人会清掃奉仕

10月22日、台風27号接近の予報もあり、濃霧と細雨(ささめあめ)の中、朝から30数名の老人クラブの皆様が集ってくださり、境内のみならず駐車場、お旅所まで限なく清掃してくださいました。皆様とてもお元気でフットワークも軽やかで明るく、会話を楽しみながら曇天を吹き飛ばさんばかりでとても輝いておられました。ありがとうございます。

皆様いつまでもお元気で。そして度々お立寄り、笑顔をお見せください。



## 狂言奉納 (大蔵狂言会奈良篠基会)

玉置山に狂言演者の声が轟きました。巨樹の間を疾風の如く抜けていくかと思えば空中に舞い上がっていく。大地にもドカンと染み込むが如く。奈良篠基会代表・竹内寛氏が一門の増田健氏と共に十津川、そして紀伊半島の復興祈願の思いを込めて神楽殿において狂言を奉納されました。参拝者の皆さんも思



わず迫力満点の演技に見とれ聴き惚れておられたようでした。「このような試みもあるのですか、素晴らしいですね」とおっしゃる遠来のご婦人もおられました。狂言も玉置山から発信できましたこと、ありがとうございます。

## 崇敬会入会のご案内

本会の目的

玉置神社崇敬会は、祭神であります国常立之尊様の御神徳を仰ぎ、玉置山の神気に満ちた自然を愛し、全国各地より玉置神社を崇敬する人の集いです。

全国をはじめ世界から崇敬する人同志が心のつながりを深め、国常立之尊様の御神徳をさらに宣揚し、神社神道の立場から自己の心身錬成につとめ、国内はもとより、世界平和の祈りと、さらなる御社頭護持に寄与することを目的としています。

どうか本会の主旨にご賛同いただき、ご入会くださいませようご案内申し上げます。ご入会いただきますと次のような特典がございます。

### 会員の特典

- 一 当社の年中祭事に御案内申し上げ、春秋の大祭に参列できます。
- 二 新しい年の御神符が授与されます。
- 三 社務所内の国指定重要文化財の襖絵が無料で拝観できます。
- 四 当社の広報紙を発行することにお届けします。
- 五 その他検討中の企画が具体化されたときは特典に組み入れて参ります。

問い合わせ

玉置神社社務所

電話 〇七四六―六四―〇五〇〇

FAX 〇七四六―六四―〇四二九